



< 市町村探訪 >

～ 中心市街地の活性化による都市拠点の再生をめざして～
(牛久市)

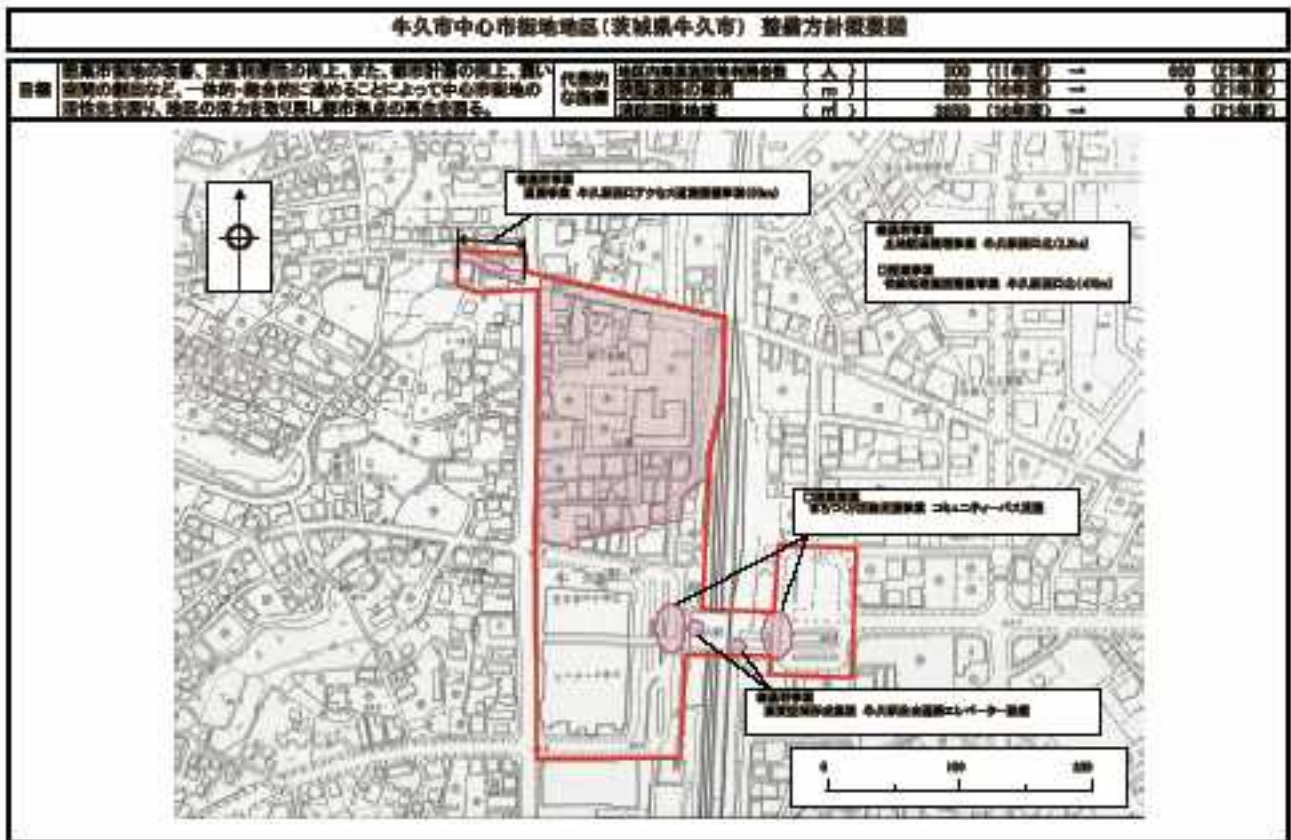
まちづくり交付金を活用した中心市街地の再生（牛久市中心市街地地区）

当地区は、古くは水戸街道沿いの宿場町として中心性を有しており、国鉄（現 JR）常磐線牛久駅の開設と国道 6 号による物流の拠点として、駅を中心とした商業地に発展してきました。

高度経済成長期に入ると、都心のベッドタウンとして、牛久市の人口が飛躍的に増加し、牛久駅を核とする定着人口は、牛久市の総人口における

過半数を占めるまでになり、牛久駅周辺を本市の中心市街地とすべく、随時、基盤整備がなされてきました。

現在は、「牛久市中心市街地地区」として「都市再生整備計画」を作成し、都市基盤の再生、災害に強い安全・安心なまちづくりの推進を目標として、まちづくり交付金を活用した中心市街地の整備を実施しております。



牛久市中心市街地地区都市再生整備計画
整備概要図（参考）



まちづくり交付金を活用した「都市再生整備計画」では、

都市基盤の再生

災害に強い安全・安心な街づくりの推進

という目標に対して、それぞれ複数の事業を展開していきます。

の「都市基盤の再生」という目標に対しては、牛久駅西口北土地地区画整理事業を基幹事業とし、その他、上下水道に代表される供給処理施設の整備事業を実施することにより、中心市街地として、密度の高いまちづくりを推進し、魅力的なまちづくりを促進していきます。

の「災害に強い安全・安心なまちづくりの推進」という目標に対しては、牛久駅西口アクセス道路整備事業を基幹事業とし、交通渋滞が発生するような道路網を整備改善するとともに、狭隘道路を解消し、緊急車両が進入できないような消防困難地域の解消に努めていきます。

また、牛久駅エレベーター設置事業を基幹事業とし、その他、公共交通機関としての牛久市コミュニティバスの支援を実施することにより、牛久駅を中心とした安全・安心な交通アクセスの向上を図っていきます。

なお、今回は、「都市再生整備計画」に位置付けられている事業の中で、「コミュニティバス支援事業」についてご紹介いたします。

「コミュニティバス支援事業」におけるPRパンフレット作成に至るまで及びその後の運行状況について

牛久市におきましては、交通空白不便地域の解消と高齢者等の交通弱者の移動手段の確保を目的に、平成15年7月1日より、コミュニティバスの運行を開始いたしました。

運行開始より2年間を実証運行として試験運行を行い、その間、利用状況や利用者の方々からの意見、要望等を参考としながら、2回の見直しを行い、現在の運行に至っているところであります。

コミュニティバスの名称につきましては、一般公募により愛称を募集した結果、牛久市といえば、「かっぱ」ということで、最も応募の多かった、「かっぱ号」に決定いたしました。

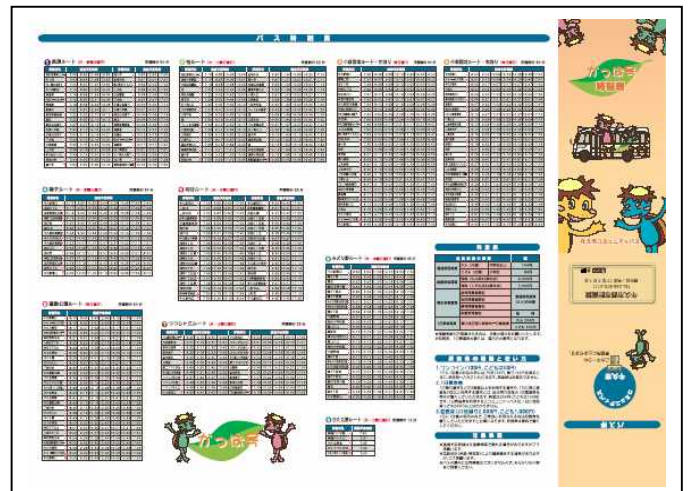
コミュニティバスの運行につきましては、市内を9つのルートにより運行しておりますが、目的地までのルート確認や必要に応じて乗り継ぎにより利用していただくこともあるため、利用者にわかりやすいよう、全てのルートの路線図及び時刻

表を載せたパンフレットを作成し、公共施設やバスの車内に置き、利用者に配布しているところです。

また、乗り継ぎのポイントとなる牛久駅には、バス停留所標識の他、パンフレットと同じように全てのルートの路線図及び時刻表を掲示した案内板を設置し、利用していただいております。

現在の利用状況については、月平均で9千人強となっており、平成17年度では、年間、約10万人以上の利用が見込まれております。

今後におきましても、誰もが、いつでも、気軽に利用できる交通手段として愛され、親しまれて利用していただけるよう、より良い運行に向け、運行形態やPR方法について、引き続き検討しているところであります。



コミュニティバスパンフレット（参考）

【お問い合わせ】

牛久市役所建設部都市計画課

TEL 029-873-2111（代表）

